

遠野市地球温暖化対策実行計画平成19年度実績報告

活動量実績

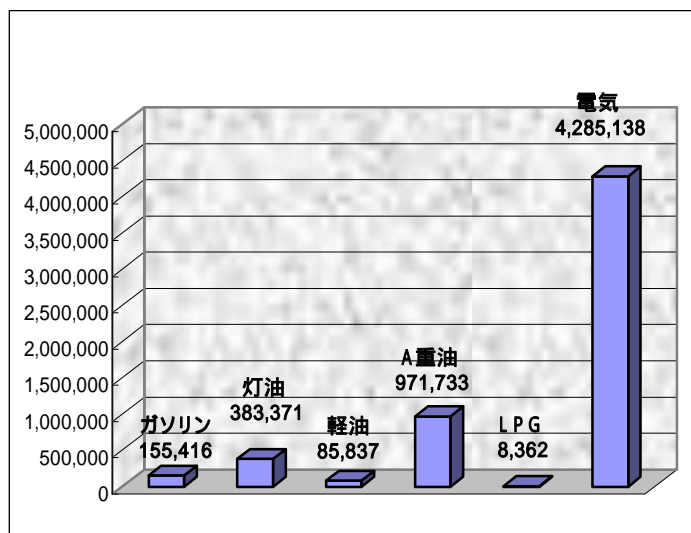
平成19年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は、5,899,857kg - CO₂となり、基準年の平成15年度に対し、14.0%の減少となりました。構成では、電気使用量が全体の72.8%で、次にA重油、灯油などの燃料設備における燃料使用量が23.1%、ガソリン、軽油の公用車燃料使用量が4.1%です。特に、全体の72.8%を占める電気使用量が、基準年比 + 17.3%でした。

平成19年度温室効果ガス排出量実績表

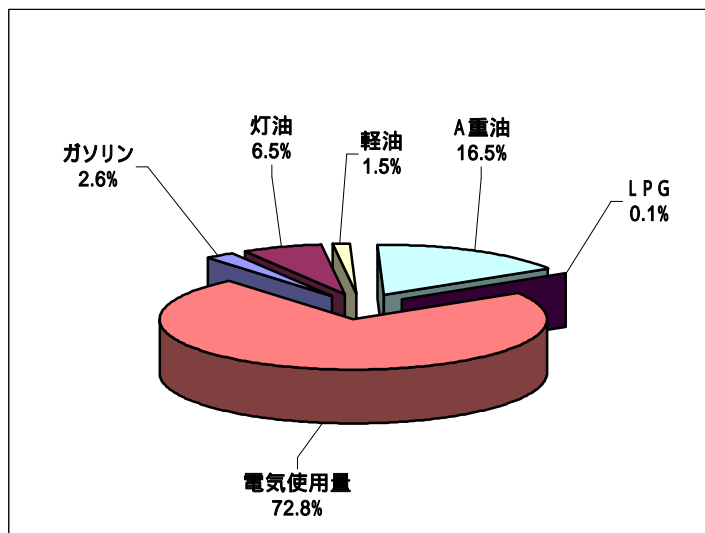
(単位: kg - CO₂)

項 目	数値目標比較					
	基準年 (平成15年度) 現況値	平成19年度			目標年 (平成22年度) 目標値	
		実績値	基準年比 増減率	割合 (%)		
二酸化炭素	6,848,308	5,889,857	14.0%	100.0	8%削減	6,300,443
電気使用量の削減	3,653,775	4,285,138	17.3%	72.8		3,361,473
燃料設備における燃料使用量の削減	A重油	2,072,781	971,733	53.1%	16.5	1,906,958
	灯油	738,296	383,371	48.1%	6.5	679,232
	LPGガス	20,524	8,362	59.3%	0.1	18,883
公用車燃料使用量の削減	ガソリン	155,712	155,416	0.1%	2.6	143,255
	軽油	207,220	85,837	58.6%	1.5	190,642

平成19年度温室効果ガス排出量



平成19年度温室効果ガス排出構成比



今後の取り組み

温室効果ガスの排出削減は、「もったいない」と思う職員一人ひとりの意識が大切です。計画推進のため、各課等任命している推進員を通じて周知しながら、今後も研修会の開催や職員ポータルへの定期的掲示など目標達成に向けて継続して取り組みを進めていきます。

主な取組内容

電気使用量の削減

省電力モード設定可能なパソコンは15分後の省電力モードの設定をする。
30分以上席を離れるときはシャットダウン、電源OFF
昼の休憩時間、業務利用以外のパソコンのシャットダウン、電源OFF
退庁時及び休日のOA機器電源プラグをコンセントから抜く。OAタップ(個別スイッチ付)設置によるスイッチOFF
時間外勤務時の事務室内の照明は、必要箇所以外は消灯する。
普段あまり使用しない機器は、不使用時にはコンセントを抜く。
冷房の室温28℃設定の実行
クールビズの実施
電気ポットの保温を止める。
電気製品の更新等に当たっては、省エネルギー型の商品とする。

灯油及びA重油(暖房用)使用量の削減

冷暖房の室温は、夏季は28℃、冬季は20℃とする。
ウォームビズの実施

ガソリン、軽油使用量の削減

近いところへの自転車移動
アイドリングストップ、エコドライブの実施
公用車更新時の低燃費車の積極的導入

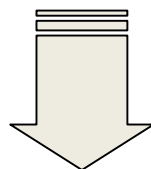
ごみの減量化、資源化

ごみの排出抑制(用紙出力は可能な限り、両面印刷または裏紙利用する。また、裏紙用紙はできるだけ出さないように努力する。)
ごみの分別の徹底、リサイクルの推進

その他

毎週水曜日のノー残業デーの徹底

職員の意識徹底



各課推進員の活用
研修会の開催
職員ポータルの活用 等

特に徹底を図る取り組み

長時間席を離れる場合にはパソコンの電源をOFFにする。
昼休み等就業時間外の照明は、必要箇所以外は消灯する。
用紙出力は可能な限り両面印刷、裏紙利用をする。裏紙を出さない努力をする。